

社会福祉法人 みどり社会福祉協会

第29期(令和5年度) 事業計画書

- ・法人本部
- ・みどりこども園
- ・花園みどり保育園
- ・見附みどりこども園
- ・悠みどりこども園
- ・お茶の間デイみどりのへや
- ・地域子育て支援センターみどり
- ・みどり学童クラブ
- ・下塩児童クラブ

社会福祉法人みどり社会福祉協会
理事長 伊東 一男

令和5年度社会福祉法人みどり社会福祉協会事業計画

1. 理事会の開催 理事 6名・監事2名
評議員会の開催 評議員 7名
評議員選任・解任委員会 必要において開催 委員 5名

2. 施設の設置・運営
第2種社会福祉事業
 - ・みどりこども園
 - ・花園みどり保育園
 - ・見附みどりこども園
 - ・悠みどりこども園
 - ・お茶の間デイその他の委託事業
 - ・みどり子育て支援センター
 - ・下塩児童クラブその他自主事業
 - ・みどり学童クラブ

3. その他
 - ・施設事業本部会議
 - ・苦情解決第三者委員会
 - ・学校評価委員会

令和5年度保育事業計画

1. 定員・職員構成

施設名	利用定員	入園児童	職員構成
みどりこども園	1号 15名 2号 22名 3号 18名	52名	園長1名、教頭1名 主幹保育教諭3名(産休1名含む) 保育教諭13名(パート4名含む) 栄養士1名、調理員1名 その他3名(パート2名含む) 合計23名
花園みどり保育園	3号 19名	22名	施設長1名 保育士11名 (パート6名、産休パート1名含む) 栄養士1名、その他1名 合計14名
見附みどりこども園	1号 15名 2号 49名 3号 31名	94名	園長1名、教頭1名 主幹保育教諭2名 保育教諭18名(パート7名含む) 調理員2名 その他3名(パート2名含む) 合計27名
悠みどりこども園	1号 15名 2号 72名 3号 38名	136名	園長1名、教頭1名 主幹保育教諭2名 保育教諭23名(パート5名含む) 栄養士1名、調理員2名 その他3名(パート1名含む) 計33名

2. 月別教育・保育目標

月	保育目標	月	保育目標
4	楽しい保育園	10	規律正しい態度を養おう
5	丈夫な子供	11	リズム遊びをしよう
6	雨の日を楽しく	12	楽しいお集まり
7	夏の遊びを楽しもう	1	嬉しいお正月
8	夏を涼しく過ごそう	2	伸びる私たち
9	体育遊びをしよう	3	もうすぐ進級

社会福祉法人 みどり社会福祉協会 みどり子ども園 令和5年度 教育課程

令和5年4月1日

年 齢	年 齢				育 育 目 標	育 育 目 標	育 育 目 標		育 育 目 標	育 育 目 標	育 育 目 標
	2歳児(満3歳)	3歳児	4歳児	5歳児							
健康	象徴機能高め、想像力を広げる	見る、聞く、話す、考える等の生活の基礎となる力を身につける	友だちとの信頼関係を築き、豊かな感情表現を共に行う	5歳児 集団生活の中から自立心を高め、周りと協調しながら経験を積み重ねる	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 (1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。 幼児発達類型認定ことも園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 (1) やねんを大切に、自分からかかわり、発見を大切に、発見したり、発見したりし、それを生活に取り入れたいと思う。 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり 数字・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	個別の知識や技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性				
人間関係	象徴機能の充実 ○ 基本的な生活機能の充実 ○ 傾聴運動機能の発達	○ 基本的な生活習慣の確立	○ 生活における健康に関心をもち ○ 協働動作への気づき	○ 健康増進への自らの取り組み ○ 運動機能や社会への積極的な関わり	内 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持っていかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (1) やねんを大切に、自分からかかわり、発見を大切に、発見したり、発見したりし、それを生活に取り入れたいと思う。 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり 数字・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	個別の知識や技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性				
環境	○ 自然現象への関心・意欲を増やす	○ 身近な環境への関心から積極的な関わりへ	○ 身近な環境から地域への社会事象への関心を高める	○ 社会や自然現象への関心からさらなる生活への取り入れへ	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持っていかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (1) やねんを大切に、自分からかかわり、発見を大切に、発見したり、発見したりし、それを生活に取り入れたいと思う。 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり 数字・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	個別の知識や技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性				
言葉	○ 言葉のやりとりの楽しさを味わう ○ 言葉の増加	○ 言葉の必要性の気づき ○ 日常における必要な言葉の理解と使い方	○ 伝える力、聞く力の習得	○ 文字の習得による楽しさの気づきと生活の発展	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持っていかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (1) やねんを大切に、自分からかかわり、発見を大切に、発見したり、発見したりし、それを生活に取り入れたいと思う。 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり 数字・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	個別の知識や技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性				
表現	○ 象徴機能の発達 ○ 豊かな想像力の膨らみ	○ 自由な表現と豊かな感性を育む	○ 豊かな感性による表現	○ 様々な経験から得た表現方法を思いあきらめず ○ 感動の共有	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持っていかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (1) やねんを大切に、自分からかかわり、発見を大切に、発見したり、発見したりし、それを生活に取り入れたいと思う。 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり 数字・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	個別の知識や技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性				
特色のある保育	○ 自然共生教育(身近な地域の自然を生かした保育)○ 食育活動(食の大切さを知る保育)○ 世代間交流(併設された老人施設の老人との交流保育) ○ 丈夫なからだづくり(サークロ運動等を通して身につける体幹のバランス、集中力)○ たすまじい教育(れを大切に保育)										
食育目標	○ 食育を通して食の大切さを知る ○ 三角食べから偏った食事にしないよう身に付ける ○ 食事のマナーを知る										
対象者	○ 1号認定(満3歳以上で教育認定を受けた者)及び2号認定(満3歳未満と満3歳以上の子どもが混在する中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては年齢差を考慮した関わりと見直しをもって子どもと接する) ※満3歳児の考え方～2歳児クラスでは、満3歳未満と満3歳以上の子どもが混在する中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては年齢差を考慮した関わりと見直しをもって子どもと接する。										
教育時間	○ 1日5時間(8時15分～13時15分) ※1日4時間 年間39週を下限としない										

令和5年度 花園みどり保育園

教育及び保育の内容に関する全体的な計画

<p>1子ども達が望ましい未来に向かって生活が営める基礎を培う教育・保育</p> <p>2保護者と教育が一体となった感性を豊かにする教育・保育</p>	<p>3子育て支援</p> <p>4食生活</p> <p>5健康</p> <p>6運動</p> <p>7表現</p> <p>8社会性</p> <p>9創造性</p> <p>10学習</p>	<p>11生活リズム</p> <p>12生活リズムをつかむ</p> <p>13生活リズムを満たし、生活リズムをつかむ</p>	<p>14行動範囲が広がる、探索活動を盛んにする</p> <p>15象徴機能を高め、想像力を広げる</p>	<p>16基本的な生活習慣の基礎</p> <p>17適切な運動と休息の充実</p> <p>18自己の育ちへの受容と共感</p>	<p>19健康な心と体</p> <p>20自立心</p> <p>21協調性・規範意識の芽生え</p> <p>22社会生活との関わり</p> <p>23思考力の芽生え</p> <p>24自然との関わり・生命尊重</p> <p>25数量や図形・算数や文字などへの関心・感受</p> <p>26豊かな感性と表現</p>	<p>27様々な食材に興味・関心をもち、食材を味わう</p> <p>28基本的な食事の仕方の芽生え</p>	<p>29適切な援助のもと、生理的欲求としての食への充足</p> <p>30食への意欲を持つ</p>	<p>31食生活</p> <p>32食生活</p> <p>33食生活</p> <p>34食生活</p>	<p>35食生活</p> <p>36食生活</p> <p>37食生活</p> <p>38食生活</p>	<p>39食生活</p> <p>40食生活</p> <p>41食生活</p> <p>42食生活</p>	<p>43食生活</p> <p>44食生活</p> <p>45食生活</p> <p>46食生活</p>	<p>47食生活</p> <p>48食生活</p> <p>49食生活</p> <p>50食生活</p>	<p>51食生活</p> <p>52食生活</p> <p>53食生活</p> <p>54食生活</p>	<p>55食生活</p> <p>56食生活</p> <p>57食生活</p> <p>58食生活</p>	<p>59食生活</p> <p>60食生活</p> <p>61食生活</p> <p>62食生活</p>
---	--	---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---

令和5年度 見附みどりこども園

教育及び保育の内容に関する全体的な計画

◎ 整った環境の中で子どもが気持ちよく、心豊かに伸び伸びと育つことを目指す
◎ 地域との連携を図り、地域の子どもの見守り活動などとも連携を図る

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、家庭との連携
一、地域との連携
一、保護者への働きかけ
一、地域の子どもの見守り活動などとも連携を図る

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

一、健康で明るく元気な子ども
一、清潔で安全な保育環境の確保

社会福祉法人 みどり社会福祉協会 見附みどりこども園 令和5年度 教育課程

令和5年4月1日

年 齢		2歳児(満3歳)	3歳児	4歳児	5歳児	育ってほしい 10の姿	資質・能力
領域	健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 (1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 (2) 自分の体を十分に動かす、進んで運動しようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 他の人々と親しみ、交え合って生活するために、自立心を育て、入てかわかる力を養う。	象徴機能を高め、想像力を広げる	友だちとの信頼関係を築き、豊かな感情表現を共に行う	集団生活の中から自立心を高め、周りと協調しながら経験を積み重ねる	健康な心と体	個別の知識や技能の基礎
	人間関係	(1) 友達と親しみ、交え合って生活するために、自立心を育て、入てかわかる力を養う。 (2) 身近な人々と親しみ、かわわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 (3) 社会生活におけるさまざまな習慣や態度を身に付ける。 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ってかわわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。	○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 積極的な生活習慣の発達	○ 生活における健康に関心をもち ○ 協応動作への気づき	○ 健康増進への自らの取り組み ○ 運動機能や社会への積極的な関わり	自立心	
	環境	(1) 身近な環境に親しみ、自然に触れ合う中で様々な事象に興味を持ち、好奇心や探究心を持ってかわわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (2) 身近な環境に自分からかわわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 (3) 身近な事象を題材に、考えたり、気づいたりする中で、物の性質や数量、文字などに對する感性を豊かにする。	○ 友だちとの関わりへの増大 ○ 自分の気持ちを表す力をつける	○ 同年代の友だちとの信頼関係の構築	○ 社会性と協調性の確立 ○ 自立心の育成	社会性との関わり	
	言葉	探求したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話や言葉に聞き取り、考えたり、気づいたりする中で、物の性質や数量、文字などに對する感性を豊かにする。 (1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 (2) 人の言葉や話などによく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになり、絵本や物語などに親しみ、保育活動や交流の場を豊かにする。	○ 自然事象への関心・意欲を増やす ○ 自然環境への関心から積極的な関わりへ	○ 身近な環境から地域への社会事象への関心を高める	○ 社会や自然現象への関心からさらなる生活への取り入れへ	思考力の芽生え	
表現	言葉	探求したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話や言葉に聞き取り、考えたり、気づいたりする中で、物の性質や数量、文字などに對する感性を豊かにする。 (1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 (2) 人の言葉や話などによく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになり、絵本や物語などに親しみ、保育活動や交流の場を豊かにする。	○ 言葉の必要性の気づき ○ 日常生活における必要な言葉の理解と使い方	○ 伝える力、聞く力の習得	○ 文字の習得による楽しさの気づきと生活の発展	支援との関わり 生命の尊重	学びに向かう力・人間性
	表現	(1) いろいろなものの美しさなどに對する豊かな感性を持つ。 (2) 感じたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	○ 象徴機能の発達 ○ 豊かな想像力の膨らみ	○ 自由な表現と豊かな感性を育む	○ 様々な経験から得た表現方法を使い気持ちを表す ○ 感動の共有	数量・図形・文字等 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	
特色のある保育	○ 自然共生教育(身近な地域の自然を生かした保育)○ 食育活動(食の大切さを伝える保育)○ 世代間交流(老人施設との交流保育)○ 丈夫なからだづくり(けんけん運動等を通して身につける体幹のバランス力、集中力)○ たまたまの教育(礼を大切に保育)						
食育目標	＜食育活動の行方＞ ○ 調理実習(調理実習) ○ 調理実習(調理実習) ○ 調理実習(調理実習) ○ 調理実習(調理実習) ○ 調理実習(調理実習)					○ 食を通して食の大切さを伝える ○ 三角定規から届った食事に感謝する ○ 食育の大切さを伝える	
対象者	○ 1号認定(満3歳以上で教育認定を受けた者)及び2号認定(満3歳未満と満3歳以上の子どもが混在する中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては月齢差を考慮した関わりと見直しをもって子どもと接する。 ※満3歳児の考え方～2歳児クラスでは、満3歳未満と満3歳以上の子どもが混在する中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては月齢差を考慮した関わりと見直しをもって子どもと接する。						
教育時間	○ 1日5時間(8時15分～13時15分) ※1日4時間(9時30分～13時15分)						

社会福祉法人 みどり社会福祉協会 悠みどりこども園 令和5年度 教育課程

令和5年4月1日

年 齢	年 齢	2歳児(満3歳)	3歳児	4歳児	5歳児	育ってほしい 10の姿	資質・能力
健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 (1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 他の人々と親しみ、あそび合って生活するために、自立心を育て、人とのかかわる力を養う。	象徴機能を高め、想像力を広げる	見る、聞く、話す、考える等の生活の基礎となる力を身につける	友だちとの信頼関係を築き、豊かな感情表現を共に育む	集団生活の中から自立心を高め、周りと協調しながら経験を積み重ねる	健康な心と体 自立心	個別の知識や技能の基礎
人間関係	初級児童発達支援センターの生活を楽しむ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 (1) 身近な人々と親しみ、かかわりを感じ、愛情や信頼感を持つ。 (2) 身近な人々との関わりから、自分自身の成長や変化を感じる。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	○基本的な生活習慣の確立 ○微細運動機能の発達	○基本的な生活習慣の確立	○生活における健康に関心をもち、適切な動作への気づき	○健康増進への自らの取り組み ○運動機能や社会への積極的な関わり	協同性	
環境	周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持ってかかわり、それらを生かして生活していくことを楽しむ。 (1) 身近な環境に興味を持ち、自然と関わりあう中で様々な事象に興味や関心を持つ。 (2) 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 (3) 身近な事象を題材に、考えたり、描いたりする中で、物の性質や数量、文字などに對する感覚を豊かにする。	○自然事象への関心・意欲を増やす	○身近な環境への関心から積極的な関わりへ	○身近な環境から地域へとの社会事象への関心を高める	○社会や自然現象への関心からさらなる生活への取り入れ	社会性との関わり 思考力の芽生え	思考力・判断力・表現力の基礎
言葉	話し言葉や書き言葉を豊かに表現する楽しさを味わう。 (1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことなどを話し、伝え合う喜びを味わう。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育者や友達と心を通わせる。 感じたことや考えたこと、まなごを表現することを通して、豊かな感性や表現力を豊かにする。	○言葉のやりとりの楽しさを味わう ○言葉の増加	○言葉の必要性の気づき ○日常における必要な言葉の理解と使い分け	○伝える力、聞く力の習得	○文字の習得による楽しさの気づきと生活の発展	自然との関わり 生命の尊重 数量・図形・文字等	学びに向かう力、人間性
表現	(1) いろいろなものの美しさなどに對する豊かな感性を持つ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	○象徴機能の発達 ○豊かな想像力の膨らみ	○自由な表現と豊かな感性を育む	○豊かな感性による表現	○様々な経験から得た表現方法を上手に活用し、思いを表現する ○感動の共有	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	
特色のある保育	○ 自然共生教育(身近な地域の自然を生かした保育)○食育活動(食の大切さを教える保育)○世代間交流(併設された老人施設の老人との交流保育) ○丈夫なからだづくり(サーキット運動等を通して身につける体幹のバランス力、集中力)○たまたま保育(食育)○食育を通して食の大切さを教える ○三角定規から届いた食育(食育)○食育を通して食の大切さを教える ○三角定規から届いた食育(食育)○食育を通して食の大切さを教える	○食育に親心をもち、食育を味わう	○食育のマナーを知る	○食育を通して食の大切さを教える ○三角定規から届いた食育(食育)○食育を通して食の大切さを教える	○食育を通して食の大切さを教える ○三角定規から届いた食育(食育)○食育を通して食の大切さを教える		
保育目標	＜食育活動＞ ○調理実習(食の管理・衛生)に基づいた給食の提供 ○行事食の提供 ○食育活動の実施 ○保護者対象の食育講座の実施 ○食育活動の実施						
対象者	○ 1号認定(満3歳以上で教育認定を受けた者)及び2号認定(満3歳未満で満3歳以上の子どもが現在いる中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては月齢差を考慮した関わりを見通しをもって子どもと接する。 ※満3歳児の誘え方～2歳児クラスでは、満3歳未満で満3歳以上の子どもが現在いる中で一体的に教育及び保育が行われるという観点から、実際の教育及び保育の現場においては月齢差を考慮した関わりを見通しをもって子どもと接する。						
教育時間	○ 1日5時間(8時15分～13時15分) ※1日4時間 年間39週を下限としない						

令和5年度お茶の間デイみどりのへや計画書

定 員 12名
施設利用日 毎週火曜日～水曜日
休 日 月曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、祝日、
年未年始（12月29日～1月3日）及びお盆（8月13日～16日）
職 員 管理者1人、介護士1人、ボランティア若干名

運 営 方 針 利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他の関係法令及び関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要支援状態等の軽減や悪化の防止、もしくは要介護状態となることの予防のため、適切なサービスの提供に努める

事 業 目 標 要支援状態等にある利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるようにする

1日の流れ 8：10 送迎
8：50 体調確認
9：20 健康チェック（体温・血圧・脈・体重）
体力チェック（片足立ち・握力・椅子からの立ち上がり・踏み台昇降）
10：00 トレーニング
・準備運動
・各々に必要なトレーニング
・整理体操
11：30 お茶タイム ・口腔ケア・脳トレ
12：00 送迎
*希望の方は昼食あり 13：00送迎

*月に1回 運動指導員による運動を実施

*年間を通し、口腔機能向上・認知症予防・栄養指導を定期的実施

令和5年度 みどり子育て支援センター〈ひまわり〉事業計画

○活動内容

園庭開放

- ・園庭を自由に利用してもらおう。(支援センターの利用時間内 9:00～14:30)

チューリップの日(支援の日)

- ・支援の部屋、玄関ホール等の保育室を除いた園舎を開放し、自由遊び、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行う。

ひまわりの日(支援の日)

- ・季節の制作や行事体験、園行事への参加、伝承遊び(手遊び)の紹介などを行う。

たまごの日(支援の日)

- ・妊婦さん、0歳～1歳半くらいのお子さんを持つ親子を対象として、悩みを話しあったり、一緒に遊んだりする。

オンラインひまわり(支援の日)※申し込み制

- ・Zoomを使用し、来園できない状況でも他者との触れ合いを感じることもできるような活動(手遊び、読み聞かせ等)や悩み相談などを行う。

関係機関との連携

- ・主任児童委員、母子推進委員
- ・市の保健師(相談や保健に関する資料の配布など)
- ・長岡市子ども家庭センター(育児相談の一環として)
- ・子育てサークル等の育成・支援

	年間計画	園行事に参加
4月	お花見・こいのぼり製作・保健師相談	
5月	トマトの苗植え・ひまわりの植え・めだかとり	
6月	いちご狩り体験・地震体験車・食事バランスチェック	
7月	プール遊び(毎日)・七夕製作・しゃぼん玉遊び	
8月	プール遊び(毎日)・お祭りごっこ	夏祭り
9月	お月見ごっこ・ミニ運動会	運動会
10月	太鼓発表見学会・ハロウィン製作と体験・保健師相談	芋掘り
11月	感触遊び(小麦粉、パン粉、片栗粉)	
12月	クリスマス製作・クリスマス会	生活発表会
1月	書初め・節分製作	豊年祭り 餅つき大会
2月	豆まき・おひな様製作・バナナボート体験・保健師相談	どんど焼き
3月	ひなまつり・大きくなったお祝い会	
その他	<ul style="list-style-type: none"> *身体計測、サーキット遊び、主任児童員によるお話【毎月1回】 *たまごの日【毎週1回】 *「子育ての駅すくすく」と合同でサーキット遊び【年間3回】 *家庭児童相談員来園「おしゃべりハッピータイム」【年間2回】 	

令和 5 年度 下塩児童クラブ事業計画

- 昼間就労等で保護者等が家庭にいない小学生に対し、基本的な生活習慣の確立を図り、もって当該当者の健全育成を図ることを目的とする。

○ 活動予定

4月	新入生歓迎会
5月	実験工作
6月	防災訓練
7月	七夕飾り
8月	なつまつり
9月	実験工作
10月	ハロウィン制作
11月	防災訓練
12月	クリスマス制作
1月	新年おたのしみ会
2月	節分
3月	おたのしみ会

○ 登録者児童数 9 名

		男	女	計
1年	通年	1	0	2
	一時	1	0	
2年	通年	0	0	2
	一時	1	1	
4年	通年	1	0	3
	一時	1	1	
5年	通年	0	0	2
	一時	0	2	
計		5	4	9

- 職員 専任児童厚生員 2名
代行児童厚生員 若干名
- 職員研修 年2回
- クラブ便り 年4回発行 4月・7月・12月・3月
- 保護者会 令和6年3月 <次年度説明会>